

**京都観光の力強い回復と、
市民生活と調和した持続可能な観光の実現に向けた重点取組について**

令和 5 年 1 月

産業観光局
都市計画局
交 通 局

＜重点取組＞

- **市民・観光客双方の安心・安全を確保しながら、京都観光の回復を図り、都市の成長につなげる。**
- その前提として、**市民生活と観光の調和**の下、コロナ禍前にあった一部観光地の混雑やマナー問題などの**観光課題対策に着実に取り組み**、市民、観光客、観光事業者・従事者等、京都観光にかかわる全ての方の質・満足度の向上を図る。
- とりわけ**交通政策の観点からは**、観光の本格的な回復に向けて、市民・観光客の双方が共に便利で快適に御利用いただける環境づくりを目指し、**市バスにおける混雑対策を推進**するとともに、新たにサブゲートを活用したルート推奨や、駅周辺におけるバス停案内の充実等、**観光客の京都駅一極集中の緩和等**に取り組む。

＜施策の体系＞

I 市民・観光客双方の安心・安全の確保

II 京都観光の回復に向けた取組

III 市民生活と観光の一層の調和の推進

IV 観光課題対策

(1) 観光地の混雑、(2) マナー問題、(3) 宿泊施設関連

V 交通政策の観点から見た観光課題対策

(1) 市バスの混雑、(2) 京都駅一極集中、(3) 道路の混雑

※ 本資料に記載の各取組は、今後、議会の議決を経て確定する。

I 市民・観光客双方の安心・安全の確保

取組の
考え方



主な
取組

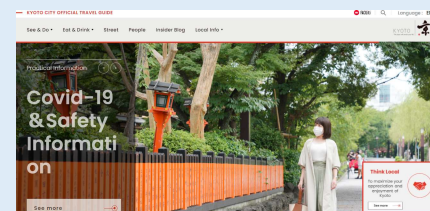
- 市民・観光客双方の安心・安全をしっかりと確保するため、引き続き、**安心・安全な受入環境を整備**するとともに、**情報発信を強化**することで、国内外から京都が訪問地として選ばれ続けることを目指す。

■ 安心・安全な受入環境の整備

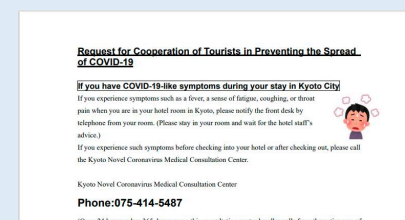
- ・ 「きょうと新型コロナ医療相談センター」等における外国人観光客の相談への対応（保福）

■ 安心・安全情報の国内外への発信強化

- ・ 多言語の京都観光公式ホームページ内に、コロナ対策を含む安心・安全情報を集約したコンテンツを創設【R4.6創設】（産観）
- ・ 感染疑いの場合等における対応方法について英語版リーフレットによる周知【R4.11開始】（保福）



多言語公式ホームページによる発信強化



感染疑いの場合の対応方法の英語版リーフレット

■ 修学旅行生の安心・安全確保策

- ・ 修学旅行専用24時間感染電話相談、宿泊療養施設入所時等のスマートフォン無償貸出（産観）

■ 安心・安全なMICEの開催支援（産観）

II 京都観光の回復に向けた取組

取組の
考え方



主な
取組

- 安心・安全の確保を前提としたうえで、国内外の観光客を誘致することで、京都観光の着実な回復を図り、都市の成長につなげる。
- **とりわけインバウンド及びMICEについては、国内の他都市や諸外国に遅れを取らないよう、大阪・関西万博も視野に誘致に努める。**

■ 国内観光の振興

令和5年度新規事業

- ・ **修学旅行体験学習支援事業**（産観）

■ 持続可能なインバウンド観光の促進

令和5年度新規事業

- ・ **持続可能なインバウンド観光促進事業**（産観）
 - ① 京都観光モラルをはじめとする情報発信の強化
 - ② 認定通訳ガイドを活用したモデルツアー造成等の受入環境整備
 - ③ ファムトリップの催行等によるプロモーションの実施 等

■ MICE誘致強化

令和5年度新規事業

- ・ **サステナブルMICE都市形成事業**（産観）
（SDGsに資する活動を推進するMICE主催者に対する支援 等）

Ⅲ 市民生活と観光の一層の調和の推進

取組
の方

- 市民生活と観光の調和の下、京都観光にかかわる全ての方の満足度の向上を図り、それにより京都観光の魅力を更に高め、将来にわたって京都が発展していく好循環を構築する持続可能な観光を実現する。
- このため、観光課題対策はもとより、京都観光モラルの普及・実践の促進や、観光に対する市民の皆様の共感の輪の拡大、京都観光を支える担い手の活躍促進等に取り組む。

■ 京都観光モラルの普及・実践の促進

- ・ 京都観光モラル特設サイトの開設等による観光客、観光事業者に向けた発信力強化（産観）
- ・ 持続可能な京都観光を推進する優良事業者表彰【R5.3予定】（産観）

令和5年度新規事業

- ・ **観光事業者への京都観光モラルの普及促進事業**（産観）

■ 観光に対する市民の共感の輪の拡大

- ・ 観光の効果の見える化リーフレット「私たちの暮らしと京都観光」等を活用した周知（産観）
- ・ 京都観光に関する市民意識調査の実施（産観）



リーフレット
「私たちの暮らしと京都観光」

■ 京都観光の担い手活躍促進

- ・ 認定通訳ガイドの育成（産観）
- ・ 京都観光事業者・従事者実態調査の実施（産観）

主な
取組

Ⅳ-1 観光課題対策（観光地の混雑）

取組
の方

- コロナ禍以前、一部観光地の混雑等の観光課題が発生し、その対策として観光地の時期・時間・場所の3つの分散化等の混雑対策を進めてきた。
- 観光地の分散化は、多様なエリアにおける地域活性化にもつながることから、今後の京都観光の本格的な回復に向けて、この間進めてきた混雑対策を更に強化し、取組を推進する。

■ 時期・時間・場所の3つの分散化

- 時期**・閑散期における誘客キャンペーンの実施（産観）
- 時間**・朝・夜観光の推進、事前予約の体験プラン充実、宿泊観光の振興（産観）
- 場所**・「とっておきの京都プロジェクト」の推進及び実証事業への伴走型支援【R4.4開始】（産観）



とっておきの京都プロジェクト
における実証事業への伴走型支援
コンテンツ開発例

■ 混雑状況・観光快適度の見える化と情報発信等

- ・ エリアごと、時間帯別の観光快適度の予測やライブカメラ映像によるリアルタイム情報等を「京都観光快適度マップ」において多言語にて発信（産観）



リアルタイム情報の発信

令和5年度充実事業

- ・ **安心・安全な京都観光のための情報発信の強化**（産観）
（外国人観光客の混雑予測 等）

主な
取組

IV-2 観光課題対策（マナー問題）

取組
の方

主な
取組

- コロナ禍以前、文化や生活習慣の違い等により、一部の外国人をはじめとした観光客のマナーが問題に。観光マナーの問題は地域ごとに抱える問題の内容が様々であったことから、**地域の実情に応じたきめ細かなマナー対策**に取り組んできた。
- 引き続き、外国人観光客の回復動向等の状況を踏まえ、**SNS等を用いた旅マエにおける啓発や、空港や主要駅等の旅ナカでの啓発など、一貫したマナー啓発を推進**する。

■ 旅マエからの一貫したマナー啓発

- ・ 外国人観光客向け啓発コンテンツ「MIND YOUR MANNERS」等を活用した啓発【R4.6開始】（産観）
- ・ 春節のシーズンにおける着地型マナー啓発の強化（関西国際空港における啓発、JR西日本 京都駅「特急はるか」着ホームにおける啓発 等）



外国人観光客向けマナー啓発コンテンツ
「Mind your manners」

- ・ 地域の実情に応じたマナー対策等の観光課題解決事業への支援（産観）
- ・ SNSや公式ホームページ等を通じたマナー啓発（産観）

IV-3 観光課題対策（宿泊施設関連）

取組
の方

主な
取組

- かつて、旺盛なインバウンド需要を背景に客室数は増加する一方で、宿泊施設の質の向上が課題となっていた。こうした課題に対し全庁を挙げて取り組んできた結果、現在は、**違法民泊の解消**とともに、各地域の多様な魅力を活かした施設など**質の高い宿泊施設の新規開業も進んでいる**。
- 引き続き、**違法・不適正な民泊への対策を講じる**とともに、**宿泊施設による地域貢献を推進**する等により、**宿泊施設の更なる魅力向上を図る**。

■ 民泊対策

- ・ 「民泊通報・相談窓口」による違法・不適正な民泊に係る通報等の受付（保福）

■ 宿泊施設の更なる魅力向上

- ・ 事例集「これからのお宿」を活用した地域貢献等の優良事例の周知【R4.3開始】（産観）
- ・ 宿泊施設等と連携した京都経済の域内循環促進事業「コトノムスビ・プロジェクト」【R4.10商談会開催】（産観）
- ・ 宿泊施設立地に際しての構想段階での住民説明手続の運用【R3.4開始】（都計）



「コトノムスビ・プロジェクト」
商談会出展ブース例

■ 宿泊施設におけるバリアフリー対応の促進

- ・ 新たに建築等を行う全ての宿泊施設を対象とした客室内部のバリアフリー基準を全国で初めて新設、運用【R3.10開始】（都計）

V-1 交通政策の観点から見た観光課題対策（市バスの混雑）

考
え
組
の
方
向



主
な
取
組

- コロナ禍前、市バス事業においてはお客様数が順調に増加。一方で、一部路線において“満員で乗れない”、“バス停留所が行列で乗りづらい”、“**“キャリーバッグ等の大型手荷物の持込みにより車内環境が悪化”**といった課題が発生していた。
- このため、京都観光の本格的な回復を見据え、**市民・観光客の双方が共に便利で快適に御利用いただける市バスを目指し、混雑対策を推進**する。

市バスにおける混雑対策

1 市バス輸送力の再配分・増強 (交通)

■ 生活利用と観光利用が混在する系統や御利用の回復が顕著な系統の復便・増便

- ・ 観光利用で混雑が生じる系統を中心に既存系統の臨時便を運行【R5.4～】
- ・ 生活利用と相まって混雑が生じる系統や、御利用の回復が顕著な系統の輸送力を増強【R6.3ダイヤ改正】



臨時バスの運行
(楽洛ライン)

■ 観光シーズンにおける臨時バスの運行

- ・ 主要観光地を結ぶ「楽洛ライン」の運行

2 地下鉄を生かした移動経路の分散 (交通)

(1) バスから地下鉄への利用誘導

■ バスから地下鉄への無料振替の充実

【GW,11月全土休日】

令和5年度充実事業

- ・ **市バスから地下鉄への無料振替の拡充** (交通)
→ 実施停留所の拡大
(銀閣寺道、岡崎公園 美術館・平安神宮前)



地下鉄への無料振替

■ バス1日券の廃止等

令和5年度新規事業

- ・ **市バスの混雑の要因の1つと考えられる「バス1日券」を廃止【R5.10発売停止、R6.4利用停止】** (交通)
→ 「地下鉄・バス1日券」を生かして、地下鉄へ誘導
- ・ これに合わせ「バスIC24Hチケット」を、R5.10に導入する
「地下鉄・バスIC24Hチケット」にR6.4に一元化

■ 鉄道とバスを組み合わせた移動への誘導

- ・ JR東海との連携による「地下鉄・バス1日券」の販売促進
- ・ 京都市バス“おもてなしコンシェルジュ”による案内活動

(2) バス・地下鉄の相互利用の促進

■ バス・バス乗継割引 & バス・地下鉄乗継割引

令和5年度新規事業

- ・ **ICカードによる乗継割引（ポイント還元）の実施【R5.4】** (交通)

ポイント還元の対象を市民利用の多いICカード（ICOCA・PiTaPa）に限定し、市民を中心とする利用頻度の高い方の分散化を図り、快適に移動していただくと同時に、混雑路線の混雑軽減を図る。

乗継ポイント：月額3,600円以上の利用者の乗継に対しポイント還元

▶ バス・バス乗継割引：150円に拡充（現在90円）

▶ バス・地下鉄乗継割引：120円に拡充（現在60円）

（参考）次のポイント還元策も同時実施

利用額ポイント：月額3,000円以上の利用に対して、利用金額に応じたポイントを還元

バスIC24Hチケット：登録日の利用金額のうち、設定額（大人700円）を超過したバス利用分をポイント還元し、実質バス1日券を実現。
24時間制を導入することで、現行のバス1日券よりも利便性を向上

3 市バスにおけるその他の取組 (交通)

■ バス停における降車時間の短縮に向けた取組

- ・ 降車時間の短縮効果が大きい①ICカードの更なる利用促進や、②運賃箱の「両替方式」から「つり銭方式」に変更し、降車に要する時間の短縮を図る。

公共交通におけるその他の混雑対策

■ 手ぶら観光の推進

令和5年度新規事業

- ・ **手ぶら観光情報サイト「Hands Free Kyoto」発信強化等** (産観)

V-2 交通政策の観点から見た観光課題対策（京都駅一極集中）

考え方の

- 京都駅は本市最大の交通結節点であり、乗降客が突出して多く、観光シーズンには多くの利用者による混雑がみられる。また、**京都駅への一極集中により、京都駅と観光地を結ぶ一部バス路線における車内混雑や、京都駅においてタクシー待ちの行列が発生する等の課題が助長されている。**
- **京都駅一極集中の緩和は、快適で円滑な移動の確保や密の回避による安心・安全の確保につながるものである。**
- このため、観光の本格的な再開に向けて、**サブゲート（JR山科駅、JR東福寺駅、地下鉄駅等）を活用したルート**の推奨や、**駅周辺におけるバス停案内の充実等情報発信**に取り組む。

■ 公共交通利用入洛者に向けた情報発信の強化

「日常生活・出発地での発信」

令和5年度新規事業

- ・ **首都圏のデジタルサイネージを活用した推奨ルートの多言語発信**（都計）

「車内・経路での発信」

令和5年度新規事業

- ・ **列車内広告媒体を活用した推奨ルートの多言語発信**（都計）

「目的地直前での発信」

令和5年度新規事業

- ・ **駅構内でのデジタルサイネージを活用したバスのりばライブカメラ・推奨ルートの多言語発信**（都計）
- ・ **民間バス事業者が行う車内混雑情報発信への支援**（都計）

V-3 交通政策の観点から見た観光課題対策（道路の混雑）

考え方の

- 自動車分担率や市内における自動車交通量は着実に減少する一方で、依然として地域、季節等によっては車の集中が見られる。
- また、コロナ禍以前は、観光施設や土産物店舗、観光客向けの食事施設等において、**観光バス駐停車等の問題や乗客のマナー問題が顕在化。**
- このため、**自動車流入抑制策や観光バスの路上滞留対策等を進め、自動車交通の効率化と適正化を図り、誰もが出かけたくなる歩行者優先の魅力的なまちづくりを推進する。**

■ 自動車流入抑制策

- ・ パークアンドライドの推進（都計）
 - ① 選定箇所の立地や利用条件も含めた質の向上・利用促進
 - ② ハイシーズンにおける無料の臨時駐車場の開設
 - ③ 民間事業者等によるインセンティブの活用
- ・ ハイシーズンにおける観光地交通対策（都計）
- ・ 観光地への自動車流入抑制啓発の強化（都計）



パークアンドライド駐車場検索サイト

令和5年度新規事業

- ・ **高速道路サービスエリアにおけるパークアンドライド情報の発信強化**（都計）
- ・ **パークアンドライド利用者へのインセンティブ付与に関する実証実験**（都計）
- ・ **京都市営観光駐車場における期間を限定した特別駐車料金の設定（実験的取組として検討）**（建設）

■ 観光バス路上滞留対策

令和5年度充実事業

- ・ **観光バスの路上滞留対策事業**（産観）

主な取組